



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジー・テイスト
コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 英雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 稲角 好宣

TEL 052-910-1729

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	20,269	△3.1	514	△25.5	505	△29.0	58	△89.2
28年3月期第3四半期	20,914	△1.1	690	△8.3	712	△1.6	546	△14.7

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 58百万円 (△89.2%) 28年3月期第3四半期 546百万円 (△14.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.31	0.27
28年3月期第3四半期	2.86	2.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	21,371	10,176	47.5
28年3月期	21,109	10,204	48.3

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 10,154百万円 28年3月期 10,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	△3.3	740	△17.2	780	△14.8	180	△67.3	0.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	197,051,738 株	28年3月期	197,051,738 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	5,709,866 株	28年3月期	5,709,566 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	191,342,082 株	28年3月期3Q	191,342,570 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.平成29年3月期の期末配当予想につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上で速やかに開示するものといたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や、金融政策等の効果を背景に、企業業績の改善や、雇用情勢の改善がみられる等、緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。一方、海外における政治動向により、為替や株価の変動が経済に大きく影響を与えるなど、依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、人材不足による採用費等のコストの高騰や、消費者の節約志向による個人消費の改善の鈍化など、先行きは依然として厳しい状況が続くことが懸念されております。

このような状況の中、当社グループでは、安心・安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組みを進めるとともに、回転寿司業態の「平禄寿司」においては、「豊の秋めぐり」「秋穫祭」「冬華の舞」や、「旬の豊漁丼」等の月一キャンペーンを実施した他、毎月6日の平禄の日の開催や、ハロウィン、寿司の日、いい夫婦の日、クリスマスなど季節限定の企画を実施し、お客様にご満足頂ける企画実施に取り組んでまいりました。また、北海道地区において、平禄寿司 北海道サンピアザ店の内外装を一新したリニューアルオープンや、グルメ系回転寿司「匠の回転寿司〇海」の運営の譲受をいたしました。

居酒屋業態の「とりあえず吾平」では、肉料理を強化したグランドメニューの導入や、挟み込みメニューでの冬のご馳走メニューの導入、一部店舗において300円メニューの導入を実施し、来店客数の増加を目指してまいりました。中でも300円メニューのハイボールは、お客様にご好評を頂きました。この他、首都圏でも、肉バル「かしこまり」のオープンや、カフェレストラン「ロブロス」の運営を譲り受けるなど、新しい業態にチャレンジしております。

焼肉業態では、国産牛焼肉食べ放題「肉匠坂井」の1号店を平成26年6月よりオープンして以来、当第3四半期連結累計期間までにフランチャイズ店を含め11店舗を出店いたしました。2017年は直営店、フランチャイズ店ともにさらに出店をする予定となっており、お客様より高いニーズを頂戴できております。引き続き、「安心・安全」な国産牛を中心にお客様にご満足頂ける提案をしてまいります。

ファーストフード業態では、おむらいす亭の派生業態として、12月23日に「十六穀米オムライス&炭焼きハンバーグ専門店 おむらいす亭」イオンモール熊本店（レストラン店）をオープンいたしました。当店ではハンバーグを炭火で焼いている様子を、ライブキッチンスタイルでお客様に見て頂けるようにしたことで、更なるシズル感を演出しております。また、牛肉100%のハンバーグを手ごねで仕込むことで、素材や品質にこだわった商品を提供しております。その他、LINE@の販促媒体を導入し、LINE@に登録頂いたお客様に向けた特典を配信することにより、リピート率向上及び新規顧客獲得のツールとしての活用をするなど、今後も魅力ある販売促進活動を行ってまいります。

教育事業では、英会話校舎では「パパママチケット」で子ども英会話生徒の親子受講の促進を図り、また学習塾校舎では、「理社ゼミ」で主要3教科以外の販促と成績向上を目指すことでお客様満足度の向上に取り組ましました。なお、当第3四半期連結会計期間においては1校舎の新規開校、2校舎のリニューアル開校をいたしました。

当第3四半期連結累計期間では、外食事業において、新規出店を6店舗（フードコート業態3店舗、焼肉業態1店舗、カフェ業態1店舗、その他業態1店舗）及びフランチャイジーなどからの店舗買取り等による純増4店舗とし、契約期間満了や不採算に伴い14店舗を閉店いたしました。また、教育事業において、新規に2校舎を開校いたしました結果、外食直営店舗369店舗、教育105校舎となりました。

以上のような施策を図ってまいりましたが、居酒屋業態や回転寿司業態を中心に苦戦を強いられたことにより、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高202億69百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益5億14百万円（前年同期比25.5%減）、経常利益5億5百万円（前年同期比29.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益58百万円（前年同期比89.2%減）となりました。

なお、外食事業以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報ごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、213億71百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2億62百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金の増加等によるものであります。

負債総額は、111億94百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2億89百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金の増加等によるものであります。

純資産額は、101億76百万円となり、前連結会計年度末と比較し、27百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がある一方、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであ

ります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月14日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ9,842千円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,484,624	5,440,936
受取手形及び売掛金	386,381	799,111
商品及び製品	65,878	68,003
仕掛品	3,104	4,686
原材料及び貯蔵品	206,687	275,249
その他	1,093,399	1,156,519
貸倒引当金	△16,754	△3,953
流動資産合計	7,223,320	7,740,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,604,981	3,818,813
土地	4,385,382	4,387,047
その他（純額）	356,724	362,522
有形固定資産合計	8,347,088	8,568,383
無形固定資産		
のれん	82,072	62,857
その他	167,610	166,128
無形固定資産合計	249,683	228,986
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,174,855	4,029,261
その他	1,492,869	1,275,387
貸倒引当金	△378,531	△470,954
投資その他の資産合計	5,289,193	4,833,694
固定資産合計	13,885,966	13,631,064
資産合計	21,109,286	21,371,619
負債の部		
流動負債		
買掛金	774,920	1,103,301
短期借入金	250,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	299,596	299,596
1年内償還予定の社債	478,000	638,000
関係会社短期借入金	708,142	-
未払法人税等	65,800	49,207
引当金	52,760	51,545
資産除去債務	7,552	5,284
その他	2,179,952	2,599,786
流動負債合計	4,816,725	5,046,721
固定負債		
社債	1,742,000	2,053,000
新株予約権付社債	1,977,348	1,981,650
長期借入金	858,905	642,541
退職給付に係る負債	37,404	36,752
資産除去債務	838,313	836,881
その他	634,160	597,107
固定負債合計	6,088,131	6,147,933
負債合計	10,904,856	11,194,654

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,842,326	8,842,326
利益剰余金	2,066,510	2,029,682
自己株式	△817,353	△817,371
株主資本合計	10,191,483	10,154,637
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	12,946	22,326
純資産合計	10,204,430	10,176,964
負債純資産合計	21,109,286	21,371,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	20,914,714	20,269,166
売上原価	7,626,042	7,380,376
売上総利益	13,288,672	12,888,789
販売費及び一般管理費	12,598,028	12,374,121
営業利益	690,643	514,668
営業外収益		
受取利息	6,563	5,516
受取配当金	465	488
業務受託料	50,712	51,087
受取補償金	37,400	21,378
受取解約金	2,197	37,230
その他	33,370	48,969
営業外収益合計	130,710	164,670
営業外費用		
支払利息	23,979	20,253
貸倒引当金繰入額	-	93,388
支払手数料	61,345	45,003
その他	23,886	14,959
営業外費用合計	109,212	173,605
経常利益	712,141	505,734
特別利益		
固定資産売却益	4,990	-
特別利益合計	4,990	-
特別損失		
固定資産売却損	4,355	57
固定資産除却損	15,710	9,775
店舗閉鎖損失	21,383	27,362
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2,096	16,149
減損損失	21,268	13,434
特別損失合計	64,814	66,778
税金等調整前四半期純利益	652,317	438,955
法人税、住民税及び事業税	45,252	49,791
法人税等調整額	60,488	330,321
法人税等合計	105,740	380,112
四半期純利益	546,577	58,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	546,577	58,843

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	546,577	58,843
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	546,577	58,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	546,577	58,843
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。